

タイトル

マイボーム腺機能不全と霰粒腫の診療アップデート：最新の治療戦略と疫学データ速報

英文タイトル

Update on MGD and Chalazion: Treatment Strategies and Epidemiological Data

ショートタイトル

MGD の疫学と診療 Update

筆頭演者

福岡詩麻 1,3 (LIME 研究会、大宮はまだ眼科西口分院、東京大)

共同演者

有田玲子 1,4 (LIME 研究会、伊藤医院)、

海道美奈子 1,5 (LIME 研究会、和田眼科医院)、

白川理香 1,3,6 (LIME 研究会、東都文京病院、東京大)、

松本 玲 1,7 (LIME 研究会、レイクリニック)

抄録

LIME 研究会は長崎県平戸市度島で 2017 年に Ocular Surface 疾患、2025 年春にはより広範な眼疾患の疫学調査(第 2 回)を行った。本コースでは、この疫学調査の結果速報を含め、マイボーム腺機能不全(Meibomian gland dysfunction, MGD)の最新の診断と治療についてアップデートする。MGD は我々眼科医が一般眼科外来で遭遇する最も多い疾患のひとつであり、ドライアイの主因でもある。2023 年、エビデンスに基づいた「MGD 診療ガイドライン」の発行後、このガイドラインを基に MGD 診療が行われている。今回も、診療ガイドラインに沿って、MGD の診断・治療をわかりやすく解説しお伝えする。また、マイボーム腺関連疾患として国際的にも注目されている「霰粒腫の切らない治療」、特に子どもの霰粒腫治療についても実際の症例を提示しながら解説する。

具体的には、以下の内容を予定している

1. MGD の疫学 [第 2 回平戸度島住民検診の結果速報]
2. MGD の診断 [自覚症状、眼瞼縁・マイバムの観察、マイボグラフィ]
3. MGD の治療 [マイボケア(温罨法・眼瞼清拭・まばたき運動)、処方薬・マイバム圧出、医療機器(Intense Pulsed Light (IPL)、Thermal pulsation system)]
4. 切らない霰粒腫治療 [温罨法、眼瞼清拭、ステロイド注射、IPL]

本コースの目標は、最新の疫学結果を踏まえたうえで、「MGD」と「霰粒腫」に対し適切な診断を行い、ホームケアから最新の治療まで症例に応じた治療選択を可能にすることである。